

事業計画書

令和 8（2026）年度

（第十四期）

自 2026（令和 8）年 4 月 1 日

至 2027（令和 9）年 3 月 31 日

公益社団法人国際演劇協会日本センター

令和 8（2026）年度 事業計画

1, 独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業 令和 8 年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業

事業名：「日本と海外の舞台芸術交流」に関する調査・分析・公開事業

委託費要望金額 12,602,809 円

■「日本と海外の舞台芸術交流」（調査）

本事業における、日本と海外の演劇交流の多様なチャンネルの確保・拡大のための情報リソースとしての機能をさらに充実させるべく、当該分野（演劇）の海外公演や共同制作に関する調査を行う。

【調査対象】演劇（伝統芸能・ミュージカル・ジャンル横断的な公演を含む・人形劇は除く）分野における、公演名、公演団体名、演目（作・演出・振付等）、公演日、公演回数、公演場所（国・都市・会場）、主催団体、催事名（参加フェスティバル等）、助成の有無、および現地での受賞の有無等。

【調査対象期間】2026/1/1～2026/12/31

■「国内外の演劇概況」

直近 1 年間の各ジャンルにおける公演動向、批評、劇評、および世界の演劇に関する近年の変遷・トピックスに関する専門家による報告。

世界の舞台芸術を知る『国際演劇年鑑 2026—Theatre Abroad』【日本語版】（予定）

1）日本の演劇概況（日本編）・・・2026 年 1 月から 12 月の日本の演劇界各ジャンルの概況をそれぞれの専門家が担当し執筆。

日本の舞台芸術を知る（10 ジャンル）＝1（能・狂言）、2（歌舞伎）、3（文楽）、4（ミュージカル）、5（現代演劇）、6（児童青少年演劇）、（日本舞踊）、8（バレエ）、9（コンテンポラリーダンス・舞踏）、10（テレビドラマ）

2）海外の演劇概況（海外編）（予定）

2024 年 10 月から 2026 年 9 月までの世界 8 カ国・地域のパフォーミングアーツをめぐる状況について、専門家による報告を掲載。

■日本の舞台芸術を知る『Theatre Yearbook 2026—Theatre in Japan』【英語版】（予定）

上記、1）日本の演劇概況（日本編）から 5 本と、「日本と海外の舞台芸術交流の実態」（調査）を英訳する。

2, 令和 8 年度 文化芸術振興費補助金 舞台芸術等総合支援事業 芸術家等人材育成

「次代の翻訳者育成セミナー」（「ワールド・シアター・ラボ」）

補助金要望金額 8,281,970 円

1. 戯曲翻訳ゼミナール

実施日：令和8年8月1日（土）～令和8年9月30日（水）予定

実施場所：都内施設

受講料：5,000 円

指導者：萩原健

戯曲翻訳の分野に関心を持ち、継続的に取り組もうとする人材の育成を目的とする。参加者を広く公募し、現代の海外戯曲を題材に試訳を重ねることで、翻訳技術の向上のみならず、演劇作品の構造的理解や異文化表現への洞察を深めることを目指す。

ゼミナールでは、実際の戯曲を題材に演習を行い、試訳、指導者・参加者とのグループ討議を重ねることで、翻訳者同士の視点を共有し、協働的な学びの場を形成する。そして、翻訳者のネットワーク形成へと繋げる。

（R5 年度（英語戯曲）参加者 6 名、R6 年度（英語戯曲／ステップアップ編）参加者 6 名）

2. 戯曲読解ワークショップ

実施日：①令和8年6月16日（火）～令和8年6月19日（金）

②令和8年9月8日（火）～令和8年9月11日（金）

実施場所：オンライン

受講料：3,000 円（対象作品の翻訳者（育成対象者）は無料）

対象作品の翻訳者と、翻訳に関心のある翻訳家志望者を育成対象者に、海外戯曲に関心のある演出家・俳優・制作者等も参加し、指導者であるファシリテーターの進行のもと、上演を想定した翻訳戯曲の分析やディスカッション等をオンラインにてワークショップ形式で行う。

翻訳者による戯曲の生まれた背景や文化差異などのレクチャーもワークショップ内で開催し、翻訳戯曲の理解へとつなげる。

① 作品：『Mary』（英語） 翻訳者：R7 年度戯曲翻訳ゼミナール参加者 6 名※共同翻訳

指導者：三輪えり花

② 作品：『Nachtland』（ドイツ語）翻訳者：R7 年度翻訳者育成プログラム 荒井風香

指導者：万里紗

3. 翻訳者育成プログラム

実施日：令和8年7月1日（水）～令和8年12月28日（月）

実施場所：都内施設（試読会）

受講料：なし

監修者：河合祥一郎

本プログラムは、日本未発表の海外戯曲を対象に、新たな戯曲翻訳人材の発掘および育成を目的として実施するものである。広く公募を行い、提出書類および面談等による選考を経て翻訳者を選出する。選出された翻訳者は、戯曲翻訳および演劇実践に精通した指導者（監修者）の助言・指導のもと、作品全体の翻訳を行う。

育成プログラムの途中段階で、俳優による初見の読み合わせ（試読会）を実施する。試読会では、実際の声で台詞を発されることで上演のイメージを確認し、ブラッシュアップの機会とする。これにより、実践的な翻訳力を高めることができる。

4. リーディング上演と戯曲集配布

実施日：令和9年2月13日（土）～令和9年2月14日（日）

実施場所：上野ストアハウス

観覧料：一般：2,500円 U29：1,500円

■上演候補作品

『イングリッシュ』（原題 English）

作：サナズ・トゥースィ Sanaz Toosi

翻訳：小林春世（育成対象者）

本事業では、現代海外戯曲の翻訳と上演を通じて、新進翻訳家の育成を目的とする。参加者は、キャリアを有する演出家や俳優、舞台スタッフとともにリーディング上演に関わることで、翻訳作品が舞台上でどのように表現されるかを実践的に学び、演劇的感覚や言語感覚を養うことができる。

今回のリーディング上演では、昨年実施した「戯曲読解ワークショップ」で取り扱った英語圏戯曲を題材として採用する。上演と併せて、本事業において翻訳された戯曲集を参加者および関係者に配布し、翻訳成果を共有する。